

科目区分	専門教育科目	授業科目名	領域「表現」の指導法Ⅱ			科目コード	26Y211	担当者	山中 慶子			担当形態	単独
対象学科・コース	幼児教育学科	配当年次	1年次	開講学期	秋学期	単位数	1	必修・選択の別	選択	免許・資格要件	保育士選択		
授業形態	演習	履修条件	「領域『表現』の指導法Ⅰ」を履修済みであること。								教育職員免許法施行規則に定める科目区分等	科目区分	
実務の経験を有する教員担当科目	該当	実務の経験内容及び科目との関連	幼稚園で造形講師の経験があり、幼児造形についての知識を有している。この経験を生かして、実践的な指導を行う。								科目に含めることが必要な事項		

授業の主題	領域「表現」の指導法Ⅰを踏まえ、保育を構想する力を身に付ける。 児童文化について学び、基礎技能を身に付ける。	課題等への対応 (フィードバックの方法等)	提出物を確認し、授業で紹介したり個別に対応したりしてフィードバックを図る。
授業の方法	レジュメを元に領域表現、及び児童文化に関する講義を行う。 児童文化財の製作を行い、実践と省察を行う。	アクティブ・ラーニングの実施方法	一部の授業では、グループで絵本の読み聞かせを行ったり、児童文化財の製作・実践を行う方法を用いる。

回数	授業計画	事前・事後学修
第1回	子どもの「遊び」「児童文化」について／伝承遊びについて	子どもの「遊び」「児童文化」に関する文献を読む
第2回	人形遊び・劇遊びについて／手袋人形の作成①	人形遊び・劇遊びについての文献を読む
第3回	手袋人形の作成②	手袋人形の構造を理解し、人形の細部まで構想を練る
第4回	パネルシアター・ペープサート・エプロンシアターについて	パネルシアター・ペープサート・エプロンシアターについての文献を読む
第5回	子どもと楽しむ表現①／児童文化財の作成	自身が作成する児童文化財の特徴を理解し、構想を練る
第6回	子どもと楽しむ表現②／児童文化財の作成	自身が作成する児童文化財の特徴を理解し、構想を練る
第7回	子どもと楽しむ表現③／児童文化財の作成	児童文化財がより効果的に演じられるような工夫について調べる
第8回	子どもと楽しむ表現④／児童文化財の発表と評価	子どもの前で演じることを想定し、練習を行う

事前・事後学修時間 (分／授業1回)	180分／授業1回
-----------------------	-----------

教科書 [書名／著者名／出版社]	新しい保育講座11 保育内容「表現」／小林紀子、砂上史子、刑部育子／ミネルヴァ書房	受講生へのメッセージ	児童文化財について理解を深め、実践によって表現することの楽しさや喜びを感じましょう。
参考書 [書名／著者名／出版社]	適宜、プリントを準備します		

